



## 子どもたちと楽しみたい!! 想像から無限に広がるジオラマの世界

せ およしあき  
但馬鉄道模型CLUB 瀬尾雅昭さん(52歳)幸町



ジオラマ(情景模型)作りに情熱を捧げ、子どもたちにジオラマ作りの楽しさを教えているのが瀬尾雅昭さんです。Nゲージ(線路幅9ミリメートル)の鉄道模型が趣味だった瀬尾さん。子どもたちを夢中にさせるために始めたのが、鉄道模型にリアル感を出したジオラマでした。

ジオラマを作り出して約5年。10数個の作品を作りましたが、中でも一昨年の秋から半年間かけて作った「余部鉄橋」は、Nゲージ専門誌に紹介されるほどの力作でした。

ジオラマは「できるだけ現実に近づきたい」ということで「線路上のオイルの漏れた跡や人の動きなど、みんなに『こんなの、あるある!』と思ってもらえる演出を想像して、作品で表現することが楽しい」と魅力を語ります。

また、子どもたちを対象にジオラマ教室も開催。「先入観を持たない子どもたちの想像力には驚かさせられ、逆に楽しませてもらっている」と笑います。ジオラマの貸出しにも応じています。問合せは、瀬尾さんまで ☎24-11058

# Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲息の合った演奏を披露

## 豊岡北中学校吹奏楽部「夕涼みコンサート」 暑い夏の夕暮れ時の「ひとときの涼」

8月3日、市役所市民広場で、豊岡北中学校吹奏楽部による「夕涼みコンサート」が開催され、通勤帰りや買い物客らが、爽やかな中学生の演奏を楽しみました。先月末に行われた兵庫県吹奏楽コンクール但馬大会に向け、猛練習を行ってきた吹奏楽部。部長の伊東萌々花さんは「日頃から応援いただいている地域の方に、感謝の思いを込めて演奏します」とあいさつしました。

演奏曲目は、コンクールの課題曲「マーチ・スカイブルー・ドリーム」などの他、観客と一緒に「アンパンマン!」と叫び始まった寸劇付きの「アンパンマンマーチ」。松田聖子メドレーでは吹奏楽部が誇る2大歌姫の歌声も。観客も手拍子で参加し盛り上がりました。

## 出向く野生復帰大作戦 in 中竹野

### 川遊びを思いっきり楽しめました!

7月30日、竹野川の河原(竹野町轟)で「出向く野生復帰大作戦 in 中竹野」が開催され、市内の子どもら17人が参加しました。

参加者は、中竹野地区公民館で、川の生きものや川遊びの注意点などの説明を受けた後、歩いて河川に移動。ライフジャケットに身を包み、膝丈ぐらいの水量の竹野川を歩いたり泳いだりして、水生生物の調査をしました。また、地元漁協のまき網を使ったアユ捕りを見学しました。

昼食には捕れたてのアユが炭火の塩焼きで出され、久畑知優君(竹野小3年)は「頭は苦かったけれど、皮は香ばしくて、身はふわふわしておいしい」と旬の味覚を堪能していました。



▲川遊びを楽しみながら水生生物調査



「広報とよおか」は、環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

広報とよおか 2016(平成28)年9月号